

# ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No. 899

12.3.2

## 2月定例会市議会報告



浦島太郎さんほどではないとしても「月日のたつのは夢のうち」みたいで、また月末かあととこ言いながら、改選後、アツという間に1年がたつてしまいました。1年のしめくりが今行われていて2月定例会市議会です。今号は私、ひめだの質疑の報告です。

## 最終補正まで放置された差金

一般会計補正予算の歳入の中で、改良住宅使用料の滞納繰越分の減額を取り上げました。

6897万円の滞納繰越分の約1割も戻込んでいないにも関わらず、214万円の

減額が計上されています。

## 指定管理の債務負担行為

12月議会に非公算で指定管理の指定をしたものの債務負担行為が計上されました。当局の説明は国からの

歳出では、塩屋の第一工場の撤去費用について。当初1億4千万円の工事請負費を持ったものの「解体工事のための補強工事予算」を6月議会で6478万円増額。その後ガレキの処理方法の改善が進み結局1億1784万円の減額補正に。安原小学校の体育館が改築されましたが、その契約は、昨年3月で、丸丸1年間、8592万円の契約差金を持ったままでした。「財源通知」があったこと。ただし、その通知があったのは、10年の12月だとか？なんか不自然やな。

## フリーの人々



世間には  
休眠預金として  
ゲージ

いるものがない  
あるらしい  
マクらは  
パンコらしい

どこに  
どこに  
どこに

ナイところには  
ナイ  
アルところには  
アルらしい

## 消費税増税論の



【ウツ】社会保障を支え、充実させるためには税率引き上げが必要。

【ホント】税率引き上げは社会保障を掘り崩す。

社会保障を掘り崩す必要とする低所得者層に最も負担が重いのが消費税です。これまで消費税は「社会保障のため」という口実で導入され、引き上げられてきました。しかし、社会保障は一向に充実していません。政府は、消費税率を上げても、社会保障を充実させるつもりはないのです。しかも、消費税率を上げると、社会保障は掘り崩されます。消費税が上がると、企業は正規雇用から消費税の控除対象となる派遣社員へと置き換える傾向を強めます。企業にとっては、派遣労働者が増えれば増えるほど、

納める消費税は少なくなるのです。派遣労働者が増えると、社会保障の担い手はますます減ります。

政府の「社会保障・税の一体改革素案」では、保育への市町村の義務をなくし、保育料を応能負担から応益負担に変える「子ども・子育て新システム」の導入を目指しています。これで女性が増えます働きにくくなり、この点でも社会保障の担い手は少なくなり、子育てのしづらさから少子化傾向が進むと、将来の社会保障の担い手も奪うことになり、ますます、まちがった「一体改革」の方向ではなく、正規雇用を増やし、女性も働きやすい社会をつくり、社会保障の担い手を増やすことこそ必要です。

消費税増税は、それにならなく逆行するものです。(2月7日付日刊赤旗)

# 2月定例会議会代表一般質問事項

順	議員名	質問事項
1	北野 均 (絆クラブ)	・施政方針における市長の政治姿勢について ・市街地再開発について
2	尾崎 方哉 (市民クラブ)	・産業振興について ・まちづくりについて ・景観条例重点地区における公有財産について
3	松本 哲郎 (公明党)	・市営住宅について ・危険家屋対策について ・防犯行政 ・組織力の強化について
4	森下 さち子 (日本共産党)	・市長の政治姿勢について
5	山本 忠相 (民主クラブ)	・市長の政治姿勢 ・市民の幸福度 ・和歌山インテリジェント周辺の土地利用

↑(以上 代表質問)

↓(以下 一般質問)

1	松井 紀博 (絆クラブ)	・市長の政治姿勢について
2	永野 裕久 (民主クラブ)	・地域経済対策について ・交通政策について
3	渡辺 忠広 (日本共産党)	・産業廃棄物最終処分場建設計画について
4	吉本 昌純 (市民クラブ)	・公共交通について ・市長の政治姿勢 ・教育行政について
5	西風 章世 (公明党)	・防犯行政について ・市街地活性化について
6	南畑 さち代 (日本共産党)	・産業廃棄物最終処分場建設について ・交通弱者問題について
7	松坂 みち子 (日本共産党)	・社会福祉制度について ・防災について
8	岩井 弘次 (公明党)	・廃棄物政策 ・自治会支援について ・公共交通政策について
9	ひめた高宏 (日本共産党)	・インシシ馬除について ・雇用対策について
10	中尾 友紀 (公明党)	・介護施策について ・消防行政について
11	山本 宏一 (市民クラブ)	・北西部の活性化について ・自殺対策について
12	寒川 篤 (絆クラブ)	・土地造成事業の債務の軽減 ・医療費の問題 ・不法係留船問題
13	貴志 啓一 (市民クラブ)	・市長の政治姿勢について
14	山田 好太郎 (絆クラブ)	・公共交通空白地域対策 ・南インテリジェント計画 ・空き家等の適正管理 ・南近畿線

## こんにちは

## 日本共産党



「しんぶん赤旗」日曜版2月26日号は橋下大阪市長による職員へのアンケート用紙を掲載しました。労働組合や政治家を応援する活動への参加の

有無や誘った人の氏名などをきく驚きの内容です。訪問先で、ある女性にこの紙面をお見せすると「へエー。橋下さんて弁護士やのにね」といわれました。弁護士は、憲法にそって国民の権利を守る存在であってほしいと思います。が、「業務命令」で思想調査をすることは言語道断です。



くにしげ 秀明  
(衆院1区)

さくらに新聞各紙は25日、憲法の条「改正」を2年後国民投票にかけるという同氏の考えを報じました。「大阪維新の会」は、衆院選への公約を論議中とのこと。真っ向から闘わなければなりません。

## 日本共産党の提言の学習会

2月26日(日)夜、日本共産党北部地区委員会は勤総で「消費税大増税ストップ! 社会保障充実、財政危機打開の日本共産党の提言」の学習会(講師・野尻富子県副委員長)を開き、私ひめたも参加しました。提言はムダ一掃、富裕層・大企業への応分の負担で「社会保障再生計画」を行

う第1段階、「応負担」に立った税制改革で「先進水準の社会保障充実」をめざす第2段階と、社会保障の充実と財源の確保を段階的に実施することを提言。配付された資料と講師の話で、日本の税制がいかに大企業と大金持ちを優遇しているのかということが、よくわかりました。